

Concerto Zefiro



Concerto Zefiro

Siglo de Oro スペイン 黄金時代の歌

2001年11月18日(日) 13時30分

長泉町文化センター イベントホール

Cançoner del Duc de Calabria 「カラブリア公爵家の歌曲集」より

Ay, luna que reluzes

Con qué la lavaré

Falalalan

No la devemos dormir

Dadme al bricias

ルネッサンス・バロックのスペイン器楽曲

Recercada Ottava, Segunda 装飾変奏法 (1553) より レセルカード 8 番、2 番

Diego Ortiz (ca.1510-1570?)

Organistas Espanoles V. Gallardas I

Juan Bautista Cabanilles (1644-1712)

ビウエラ歌曲とビウエラ独奏

Paseábase el Rey moro Luis de Narváes

「牛を見張れの主題による変奏」 Luis de Narváes

Isabel, perdiste la tu faxa Alonso Mudarra (1510-1580)

Cancionero de Palacio 「宮廷の歌曲集」より

Gasajémonos de husía Juan del Enzina (1469-1529)

Tres morillas m' enamoran anónimo

Pues que jamás olvidaros Juan del Enzina

L'amor, dona, ch'io te porto anónimo

Señora de hermosura Juan del Enzina

Por unos puertos arriva A. Rribera

Una sañosa porfia Juan del Enzina

Vuestros amores é, señora Juan del Enzina

Ninguno cierre las puertas Juan del Enzina

Si d'amor pena sentís anónimo

Oy comamos y bebamos Juan del Enzina

イベリア半島の歴史と音楽

15～16世紀のスペイン音楽を聴くとき、その前数百年にわたるイベリア半島の歴史を考えないわけにはいきません。この時代の他のヨーロッパ諸国の音楽とは少し違うこの雰囲気は、この国の歴史の反映だからです。

イベリア半島からアフリカまではジブラルタル海峡を挟んで非常に近いところにあります。駿河湾を挟んで沼津と静岡といった距離です。紀元415年に成立したキリスト教の西ゴート王国は、アフリカから侵入してきたムーア人とよばれるイスラム教徒たちとの戦いに敗れ、711年に滅びました。アフリカから多くのムーア人と、それに混じってユダヤ人たちが移入してきて、イベリア半島はイスラム教の国となったのです。しかしながらこのイスラム国家は宗教的には寛容で、キリスト教やユダヤ教も大目に見られていたようです。占領地政策といったらよいでしょうか。コルドバにあるメスキータとよばれる数千人が入れるといわれる巨大な寺院の中では、区画を区切ってイスラム教、キリスト教、ユダヤ教の典礼が同時に行われていたといえます。

11世紀になるとこのイスラム国家も内部分裂などによって弱体化してきます。半島北部に残ったキリスト教徒たちはレコンキスタとよばれる国土回復運動により徐々に自分たちの土地をとり戻していきました。13世紀には半島の殆どをとり戻し、南部のグラナダ王国のみがムーア人の国として残りました。このグラナダ王国の中心がアルハンブラ宮殿です。

15世紀のイベリア半島キリスト教国家は単一でなく、いくつかの小国家から成っていました。そのうち中央部カスティーリャ王国のイサベラ女王と東部のアラゴン王国のフェルディナンド王が結婚し、1474年にカスティーリャアラゴンの連合が成立したことによりカトリックの力が増し、レコンキスタは急速に進みました。カトリックとの戦いに敗れたグラナダの王は、1492年についてアルハンブラ宮殿を出て、グラナダ王国は崩壊しました。カトリック国となったスペインは宗教的には厳しく、イベリア半島からイスラム教徒、ユダヤ教徒は追放され、半島全土がカトリック国家となったのです。

同じ1492年にはイサベラ女王の命により大西洋を渡ったジェノバ人コロンブスによるアメリカ発見という偉業が重なり、スペインは大発展をとげることとなります。1588年にスペインの無敵艦隊はイギリスに敗れ、国力が弱まっていくきっかけになりますが、この間のおよそ100年間をスペインの黄金時代 (Siglo de Oro) とよび、国力の増大とともに音楽・文学・演劇などの文化も発展を遂げることとなります。

イサベラ・フェルディナンド両王は宮廷音楽家としてイタリア、フランス、フランドルからの移入音楽家を排し、スペインの作曲家、音楽家のみを採用しました。貴族たちも競ってスペイン音楽家たちを雇い入れたため、この時代にスペイン音楽は急速に発展したのです。その音楽は14世紀以前からの民謡などが元になっているものも多く、当然アラブやユダヤの影響を受けたものでした。こうして、他のヨーロッパ諸国とは違う独特の音楽が生まれてきたのです。

少なくともルネッサンス時代前までは、アラブの文明はヨーロッパの文明を上回っていました。アラブの数学・化学・天文学・土木建築・兵器などはヨーロッパ諸国に大きな影響を与えたのです。絵画・文学・音楽などの文化面でも大きな影響がありました。楽器でも例えば、ギター、リュート、オーボエなど、元をたどればアラブに行き着くものが多くあります。

800年近くこの半島にイスラム国家が存在したという事実は、この国の音楽にも影響を与え、15～16世紀のスペイン音楽にはアラブ的な旋律とヨーロッパの音楽が融合した独特の音が聴かれるのです。

Cançoner del Duc de Calabria 「カラブリア公爵家の歌曲集」

スペインの東、地中海に面したバレンシアは15世紀後半にナポリ王国（スペイン領）などとの地中海交易で大変栄えました。バレンシアの音楽的地位は1526年この地にカラブリア公爵家が設けられることにより飛躍的に上がりました。この公爵フェルディナンドはナポリ王フレデリックIIの長男であり、ルネッサンス的感性の持ち主であったため、バレンシアをスペインの音楽の一大拠点としたのです。これによりスペインとナポリの音楽、音楽家の交流が盛んになり、カラブリア公爵家には多くの楽譜が集められました。出版物という形では残されていませんでした。ところが、その一部が1909年になってスウェーデンのウプサラ大学の図書館で発見されました。そのためこの歌曲集は「ウプサラの歌曲集」ともよばれていましたが、最近では「カラブリア公爵家の歌曲集」といわれることが多くなりました。

54曲から成るこの曲集には1曲を除いて作曲者の名がありませんが、バレンシアの宮廷と関係のある幾人かの作曲家の名前が推定されています。

Ay, luna que reluzes	あゝ 月がこんなに光り輝いて 一晩中私を照らしている 美しい月の光が 山道を照らしている
Con qué la lavaré	結婚した女性はレモン水で顔を洗うというが 失望のうちに生きる私はどうしたら洗い落とせるのだろう この失われた美しさの中で
Falalalan	ファラララン 私は牛を追いながら守衛に笑いかける 皆は私をご主人様の娘の婚約者ペドロとよぶ この指輪をくれたのは彼女さ
No la devemos dormir	聖なる夜（クリスマス）は眠らない 聖母は何と私たちの心に安らぎを与えてくれることだろう
Dadme al bricias	光をくださいイヴの子たちに 新しいアダムの誕生の日

Cancionero de Palacio 「宮廷の歌曲集」

アラゴン国の王フェルディナンドとカスティーリャの女王イサベラは結婚後も、それぞれに礼拝堂を持ち、それぞれの聖歌隊を持っていました。しかし1504年にイサベラ女王が亡くなると二つの聖歌隊は合併し46人というスペイン始まって以来の大聖歌隊ができました。当時宮廷で使われていた歌集の一つがこの「宮廷の歌曲集」です。

この歌曲集はマドリッドの王宮の図書館に保存されていました。目次には548曲があるが楽譜は失われたものもあって、458曲が残っています。この曲集の大きな特徴はすべて世俗的な曲のみから成っていることです。これらの曲の詩の形式で代表的なのは、villancicos(ビリャンシーコス)と romances(ロマンセス)です。ビリャンシーコスはアンダルシアの民衆が歌ったり踊ったりする中から出てきた形式でverseの部分でソロで歌い、繰り返し部分を皆でコーラスするという形式です。ロマンセスは14世紀にカスティーリャで生まれ、スペイン中に広まりました。詩の内容は、ムーア人との戦いの様子や、英雄をたたえるといった内容の叙事詩で、当然音楽に特に定まった形式はなく詩に従っています。

曲集の中で最も曲数が多いのは Juan del Enzina (フアン・デル・エンシーナ) の曲で、72曲にもなります。

Juan del Enzina (1469-1529)

エンシーナはサラマンカ(マドリッドの西方にある大学都市)に生まれました。両親はつましく暮らしていましたが、子供たちには英才教育を施し、彼はサラマンカ大学を出た後、アルバ公爵家で長いこと勤めました。1500年頃から各地を旅行し、ローマにも行っています。

彼はルネッサンスが生んだ天才の一人で、劇作家であり、詩人であり、音楽家でした。彼の曲はすべて彼自身の詩によるものと思われます。また、青年時代にグラナダ攻略に兵隊として参加しており、そのとき作詩したと思われる Una sañosa porfia をはじめとする何曲かの Granada シリーズの romances を作曲しています。

聖職者の地位も得ており、聖歌隊のマスターでもありながら宗教曲は作曲しておらず、彼の作品はすべて世俗曲のみとなっています。

Gasajémonos de husía	Juan del Enzina (1469-1529)
Tres morillas m' enamoran	anónimo (作曲者不詳) 私はハエンで3人のムーア人の娘に恋した アサ、ファティマ、マリエンに
Pues que jamás olvidaros	Juan del Enzina 私の心はあなたを忘れることができないから あなたがそれに応えてくれなければ あなたを見るのがなんとつらいことか
L' amor, dona, ch' io te porto	anónimo 奥様、わたしがあなたに運んだ愛は
Señora de hermosura	Juan del Enzina 美しいご婦人 私はあなたに我を忘れてしまう 私はこの長く続く苦しみにどれだけ耐えなければいけないのか
Por unos puertos arriva	A. Ribera 旅する騎士が峠に着いた 山は険しく 彼は悲しく惨めだ
Una sañosa porfia	Juan del Enzina (グラナダのイスラム軍がフェルディナンド王、イサベラ女王のカトリック 軍に敗れた出来事をグラナダ王の立場で書いた叙事詩-Romance-) 長く続くこの戦いで 私にはもう楽しみもなく かわりに不運がある 私の統治は終わりになり 勇敢なスペインの獅子が私を苦しめる 彼の軍旗が私の町にひるがえり 軍隊の列が到着する 彼らは私のムーア人たちを追い掛け モスクをこわし われわれの女性を取り上げる 彼らが天に向かって叫ぶ声が聞こえる ーフェルディナンド王よ永遠なれー偉大なる女王に栄えあれー 十字架と きらめく剣と きらびやかな衣装で 彼は人々を導く
Vuestros amores é, señora	Juan del Enzina あなたの愛を わたしの愛する人 あなたを最初に見たときから わたしの心はあなたのもの
Ninguno cierre las puertas	Juan del Enzina 愛がやってきて呼んだからといって 誰も門を閉めることはできない そんなことをしても無駄だ 愛は強い意志を持ってくるのだから
Si d' amor pena sentís	anónimo 愛が苦しいものだとかわかっていただけるなら フランスへ行くお方 ガイフェロスに伝えてください 彼の愛する人は 明日結婚のため海の向こうへ旅立つと
Oy comamos y bebamos	Juan del Enzina 明日は断食の日だから 今日には食べて飲んで歌って楽しもう

Concerto Zefiro

ソプラノ : 服部礼子
アルト : 穴山佳子
バス/指揮 : 市川行洋

メソソプラノ : 伊熊公子
テノール : 田代憲孝

リコーダー : 中川睦雄
ヴィオラ・ダ・ガンバ : 穴山 徹

ルネッサンスギター、ピウエラ : 西野潤一
チェンバロ、オルガン : 杉山佳代

1951年に「みどり会合唱団」として杉山一郎氏により創立され、当時としては珍しくルネッサンスの宗教曲やマドリガルをレパートリーに加えていました。その後、指揮者は市川行洋に引き継がれて、ルネッサンスのア・カペラの宗教曲やマドリガルを主として歌ってきましたが、1992年より古楽器による通奏低音を加え、レパートリーに初期バロック作品を含めるようになりました。

- 1992年10月31日(土) 「ダウランドとその周辺」 パレストリーナ、ダウランドの作品
杉山佳代氏のチェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバのコンサートと共演
- 1993年10月9日(土) 「チューダー朝の音楽」 タヴァナー「西風のミサ」、ダウランド
杉山佳代(チェンバロ) ガンバコンサート
- 1994年10月22日(土) 「巡礼の慰め」 ダウランド、マレンツィオ、モンテヴェルディ
杉山佳代(チェンバロ) ガンバ(松永直人)
- 1998年5月1日(金) 団の名称を「コンチェルト ゼフィロ」と改称
ペトラルカのパオロの詩 *Zefiro torna* (西風が戻ってきて)による。
この詩にマレンツィオ、モンテヴェルディが作曲している
Zefiro はギリシャ神話の西風の神、ヨーロッパでは西風は春のそよ風。
- 1999年5月1日(土) 「アリアナの嘆き」全曲モンテヴェルディのマドリガーレ
リュート奏者につのだからし氏を迎える

メンバー募集

コンチェルト ゼフィロは声楽メンバーを募集しています。資格は特に必要ありませんが、この時代の音楽が好きであること、少人数でのアンサンブルが好きであることなどが条件となります。

入団、活動内容についてのお問い合わせは右の連絡先をお願いいたします。

今後演奏する予定は「ルネッサンス・スペイン歌曲」「モンテヴェルディなどの初期イタリアバロック」などです。



コンチェルト ゼフィロ

ホームページ : <http://www.zefiro.jp>

E-mail : zefiro@zefiro.jp

tel & fax : 0559-76-1584

411-0022 三島市川原ヶ谷 212

(イラスト : 林 由紀子)



Concerto Zefiro